

小谷城スマートIC栽培実験農場の こだわり農産物

黒豆えだまめ「たんくろう」

さやが鮮やかな緑色の時期から食べごろで、さらに成熟が進んで、さやが黄色に熟し、実が少し黒みを帯びた頃に収穫すると、黒豆特有の芳香と甘みがあり、食味最高のエダマメとして格別の味わいが楽しめます。



さつまいも「紅はるか、安納芋」

紅はるかは、糖度が高く、ねっとりとした上品な甘さが特徴の美味しい芋です。

安納芋は、やわらかな食感で、じっくりと焼くことで糖度が高くなる人気の芋です。



機能的植物「すいおう」

新種のサツマイモ「すいおう」は、茎葉がおいしく食べられる野菜で、栽培期間内に3回以上も収穫が可能な野菜です。

また、鉄、カルシウム、β-カロテン、ビタミンE・Kなどの栄養素が、ほかの葉菜に比べて豊富で、さらにポリフェノールやルテインも含み、栄養分に優れた野菜であることも確認されています。



琵琶湖の水草の有効利用 ー水草堆肥を使った土づくりー

かつて、琵琶湖の水草は、農地への肥料や土壌改良材として利用されていました。

水草は、農地などから琵琶湖へ流入する窒素やリンなどの栄養塩を吸収して生長するとともに、水質浄化の役割も担っています。

この農場では、琵琶湖の栄養を吸収して育った水草の堆肥を使用しています。

